

新内閣の重要課題

令和2年10月6日

新浪剛史

- 感染を抑えつつペントアップ・デマンド（繰越需要）を活性化

- 最低賃金の全国平均 1000 円に向けて継続的な引き上げを起爆剤とした DX 推進による生産性の向上

- 人材が滞留する大企業（特に銀行・商社）の社会的責任

- 銀行の出資規制の緩和と、それによる人材移動の促進による中小企業の育成並びに活性化

- コーポレートガバナンスの更なる質的強化。特にマトリョーシカ現象を打破すべく、社外取締役の更なる活性化・経営人材の流動化による企業力の強化

- 定年前倒し・職業訓練の充実・中小企業診断士など資格の見直しの3点セットによる人的資源の活性化 欧州との比較

- 医療安全保障のための国際協調

- サステナビリティを旗印に東・東南アジアで成長モデルを構築

- まずは小さな成功の積み重ね、改革のモメンタムを築き上げていくべし

(以 上)

時価総額比較（10/1現在）

三菱UFJFG

約5兆6514億円

三井住友FG

約4兆87億円

みずほFG

約3兆3276億円

JPモルガン

約29兆3700億円

バンクオブアメリカ

約20兆8600億円

シティ

約10兆8700億円

*現在の為替レート1ドル105円で計算

3大都市銀行・5大商社 PBR (10/6現在)

三菱UFJFG

0. 35倍

三井住友FG

0. 38倍

みずほFG

0. 40倍

三菱商事

0. 72倍

三井物産

0. 80倍

住友商事

0. 65倍

伊藤忠

1. 30倍

丸紅

0. 69倍

中小企業診断士 試験概要

●中小企業診断士 1次試験

<科目>

- ① 経済学・経済政策、②財務・会計、③企業経営理論、④運営管理、
⑤経営法務、⑥経営情報システム、⑦中小企業経営・政策

<合格基準>

- ◇総得点の60%以上であって、かつ1科目でも満点の40%未満のないことを基準とし、試験委員会が相当と認めた得点比率とする。

●中小企業診断士 2次試験

<科目（筆記試験）>

- A：中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅰ（組織・人事）
B：中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅱ（マーケティング・流通）
C：中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅲ（生産・技術）
D：中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅳ（財務・会計）

<科目（口述試験）>

※筆記試験科目問題から、ランダムで出題

<合格基準>

- ・筆記試験における総点数の60%以上であって、かつ1科目でも40%未満のものがない者であって、口述試験における評定が60%以上のものとする。

●合格率

年度	1次試験	2次試験	Total
平成27年	26.0%	19.1%	4.9%
平成28年	17.7%	19.2%	3.3%
平成29年	21.7%	19.4%	4.2%
平成30年	23.5%	18.8%	4.4%
令和元年	30.2%	18.3%	5.5%

以上